

8 リテラシー教育の実績

(1) 図書館活用※1 *半期2単位(駿河台：前期，生田：後期，中野：後期，和泉：2006年より前期・後期 に開講)

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	履修者数	89	116	107	43	57	50	73	67	36
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	14 (11)	14 (11)	14 (11)	14 (10)	12 (9)	14 (10)	15(11)	15(13)	15(11)
	担当講師数 ※3	14 (12)	14 (12)	14 (11)	13 (10)	13 (11)	13 (9)	14(10)	14(10)	15(12)
和泉図書館	履修者数	258	252	302	262	231	253	244	240	315
	開講数	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	授業回数 ※2	56 (44)	56 (44)	56 (44)	56 (40)	52 (38)	56 (40)	60(44)	58(42)	56(40)
	担当講師数 ※3	21 (17)	21 (17)	22 (18)	25 (22)	27 (23)	24 (22)	24(22)	29(27)	27(25)
生田図書館	履修者数	152	60	56	42	30	36	26	36	29
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	14 (11)	14 (10)	14 (10)	13 (9)	14 (10)	14 (10)	15(10)	15(10)	15(10)
	担当講師数 ※3	8 (5)	10 (6)	10 (6)	9 (6)	10 (7)	9 (6)	9(6)	10(6)	9(6)
中野図書館	履修者数							11	10	16
	開講数							1	1	1
	授業回数 ※2							15 (10)	15(10)	14(10)
	担当講師数 ※3							8 (5)	8(5)	7(5)
履修者総数		499	428	465	347	318	339	354	353	396

※1 2000年開講

※2 カッコ内の数字は職員が担当した回。ただし、教員とともに担当した回は除く。

※3 複数のキャンパスを担当した場合はそれぞれに計上。カッコ内の数字は職員。

(2) ゼミツアー *フリーツアー(すべての利用資格者対象)含む

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数	109	102	89	81	59	62	62	56	61
	履修者数	1,278	1,137	1,035	905	689	851	714	617	620
和泉図書館	回数	157	181	178	153	139	263	195	170	169
	履修者数	2,761	3,055	2,850	2,738	2,221	3,278	2,864	2,741	2,999
生田図書館	回数	4	25	33	31	28	38	25	21	18
	履修者数	38	267	237	202	163	184	167	218	211
中野図書館	回数							28	21	20
	履修者数							396	255	265

(3) 出前講義 *「図書館活用」を除く教室授業，図書館以外施設授業など

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数	ゼミツアーに含む								
	履修者数									
和泉図書館	回数	5	3	3	0	0	0	0	0	0
	履修者数	154	105	65	0	0	0	0	0	0
生田図書館	回数	2	14	10	12	8	8	8	8	10
	履修者数	213	262	380	443	294	300	286	286	422
中野図書館	回数							3	2	2
	履修者数							22	30	40

(4) 各種講習会 * 情報・文献検索講習会, DB 講習会, テーマ別講習会, グループガイダンスなど

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数	48	26	22	28	26	19	19	20	18
	参加者数	324	148	264	269	296	221	196	222	190
和泉図書館	回数	0	0	10	35	45	59	51	40	22
	参加者数	0	0	114	486	283	397	260	384	291
生田図書館	回数	2	9	11	13	17	22	10	23	8
	参加者数	16	478	158	118	137	71	200	197	121
中野図書館	回数							17	23	10
	参加者数							80	68	84

(5) オリエンテーション * 新入生, 新任教員, 三年次, 留学生など

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数	8	8	8	9	6	8	8	13	12
	参加者数	1,592	1,548	1,548	1,501	1,076	1,404	1,132	970	893
和泉図書館	回数	9	11	14	13	15	12	8	8	7
	参加者数	4,166	5,723	5,725	5,864	5,486	5,232	4,987	5,196	5,677
生田図書館	回数	6	9	6	4	4	4	4	4	6
	参加者数	659	820	1,658	1,585	1,683	1,640	1,632	1,698	1,595
中野図書館	回数							6	5	5
	参加者数							890	627	665

(6) 見学・視察 * 各種団体, 個人, 学校など

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数 ※ 1	103	136	121	148	129	140	134	100	95
	参加者数	3,137	2,596	3,136	3,752	3,470	3,785	4,088	3,229	3,108
和泉図書館	回数 ※ 1	50	63	20	7	13	118	118	140	91
	参加者数	59	450	815	162 (303) ※ 2	491	3,502	2,099	3,791	2,134
生田図書館	回数 ※ 1	11	13	4	1	0	1	0	0	3
	参加者数	238	633	706	591	312	532	232	285	2,972
中野図書館	回数 ※ 1							43	31	13
	参加者数							2,083	1,638	3,089

※ 1 個人での見学は含まない

※ 2 カッコ内の数字は建物外からの概要説明のみ

学部間共通総合講座「図書館活用法」

《春学期》

図書館活用法			コーディネーター	
			経営学部 森 久	
駿河台キャンパス	2単位	半期(春学期)	木曜日 2 時限	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー) 2. さまざまな情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リテラシー) 4. 就職活動に役立つ企業情報を入手できるようにします。				
2 日程・テーマ・担当				
①	4月16日	ガイダンス(講座の概要、成績評価方法等の説明)、 大学図書館への招待	経営学部専任教授 森 久 図書館職員 伊能 秀明	
②	4月23日	図書館総合利用法	図書館職員 小野 聡・宮澤 順子 小倉 葉子・永田 由香利	
③	4月30日	レポート・論文の書き方	経営学部専任准教授 長野 史麻	
④	5月 7日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	5月14日	読書を愉しむ	経営学部専任教授 宇野 毅	
⑥	5月21日	文獻・情報の探し方(1) 概論	図書館職員 久松 薫子	
⑦	5月28日	文獻・情報の探し方(2) 図書 【演習】	図書館職員 宮澤 順子・久松 薫子	
⑧	6月 4日	文獻・情報の探し方(3) 雑誌論文① 【演習】	図書館職員 平田 さくら・杉谷 美和	
⑨	6月11日	文獻・情報の探し方(4) 雑誌論文② 【演習】	図書館職員 平田 さくら・杉谷 美和	
⑩	6月18日	文獻・情報の探し方(5) レファレンス資料 【演習】	図書館職員 小倉 葉子・久松 薫子	
⑪	6月25日	文獻・情報の探し方(6) 専門情報・新聞 【演習】	図書館職員 小倉 葉子・久松 薫子	
⑫	7月 2日	文獻・情報の探し方(7) インターネット 【演習】	図書館職員 角 祐二郎 メディア支援職員 笈 直之	
⑬	7月 9日	検索技術の向上 【演習】	図書館職員 小野 聡・梅田 順一	
⑭	7月16日	文獻・情報の探し方(8) まとめ 【演習】	図書館職員 関口 則枝・平田 さくら	
⑮	7月23日	総括:総合演習 【演習】	経営学部専任教授 森 久 図書館職員 関口 則枝・平田 さくら	
3 履修上の注意点・専攻学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前を受けていないと受講できません。				
4 教科書 教材として印刷資料を配布します。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原喜康著「大学生のためのレポート・論文術」(新版(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤望編著「アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技術入門」(第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 西井聡樹著「ゼロからレポート・本論文を書く者のために」(2007、井立出版、ISBN9784320005147) 高橋拓智著「デジタル情報資源の検索」(増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門」(ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法 ①授業への参加態度(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター	
			法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位	半期(春学期)	火曜日	3 時限
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる(図書リテラシー) 2. 様々な情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようにする(学術リテラシー)				
2 日程・テーマ・担当				
①	4月14日	講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子	
②	4月21日	文獻・情報の探し方(1) 概論	図書館職員 久松 薫子	
③	4月28日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	5月12日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和	
⑤	5月19日	書物の愉しみ	法学部専任教授 田島 正行	
⑥	5月26日	文獻・情報の探し方(2) 図書① 【演習】	図書館職員 辻 薫・原口 尚大	
⑦	6月 2日	文獻・情報の探し方(3) 図書② 【演習】	図書館職員 辻 薫・原口 尚大	
⑧	6月 9日	文獻・情報の探し方(4) 雑誌論文① 【演習】	図書館職員 曾野 正士・桑原 理恵	
⑨	6月16日	文獻・情報の探し方(5) 雑誌論文② 【演習】	図書館職員 曾野 正士・桑原 理恵	
⑩	6月23日	文獻・情報の探し方(6)レファレンス資料【演習】	図書館職員 青木 信一・畑野 蘭子	
⑪	6月30日	文獻・情報の探し方(7) 新聞 【演習】	図書館職員 小野 聡・畑野 蘭子	
⑫	7月 7日	文獻・情報の探し方(8) インターネット 【演習】	メディア支援職員 井上 拓弥 図書館職員 原口 尚大	
⑬	7月14日	文獻・情報の探し方(9) まとめ 【演習】	図書館職員 折戸 晶子・柴尾 晋	
⑭	7月21日	総括:総合演習 【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・豊満 朝子	
3 履修上の注意点・専攻学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前を受けていないと受講できません。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原喜康著「大学生のためのレポート・論文術」(新版(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤望編著「アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技術入門」(第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 佐井忠徳著「ゼロからレポート・本論文を書く者のために」(2007、井立出版、ISBN9784320005147) 高橋拓智著「デジタル情報資源の検索」(増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門」(ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター 法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位	半期(春学期)	火曜日 5 時限	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる(図書リテラシー) 2. 様々な情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようにする(学術リテラシー)				
2 日程・テーマ・担当				
①	4月14日	講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子	
②	4月21日	文獻・情報の探し方(1) 概論	図書館職員 曾野 正士	
③	4月28日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	5月12日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	5月19日	書物の愉しみ	法学部専任教授 田島 正行	
⑥	5月26日	文獻・情報の探し方(2) 図書① 【演習】	図書館職員 松並 康子・浅野 京子	
⑦	6月 2日	文獻・情報の探し方(3) 図書② 【演習】	図書館職員 松並 康子・浅野 京子	
⑧	6月 9日	文獻・情報の探し方(4) 雑誌論文① 【演習】	図書館職員 吉田 千草・小倉さなえ	
⑨	6月16日	文獻・情報の探し方(5) 雑誌論文② 【演習】	図書館職員 吉田 千草・小倉さなえ	
⑩	6月23日	文獻・情報の探し方(6) レファレンス資料 【演習】	図書館職員 宮澤 順子・豊満 朝子	
⑪	6月30日	文獻・情報の探し方(7) 新聞 【演習】	図書館職員 柴尾 晋・種田 賢一	
⑫	7月 7日	文獻・情報の探し方(8) インターネット 【演習】	図書館職員 種田 賢一・角 祐二郎	
⑬	7月14日	文獻・情報の探し方(9) まとめ 【演習】	図書館職員 豊満 朝子・青木 信一	
⑭	7月21日	総括:総合演習 【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・青木 信一	
3 履修上の注意点・専攻学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前を受けていないと受講できません。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原喜康著「大学生のためのレポート・論文術」(新版(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤望編著「アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技術入門」(第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 佐井竜樹著「ゼロからレポート・本論文を書く者のために」(2007、井立出版、ISBN9784320005147) 高橋拓智著「デジタル情報資源の検索」(増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門」(ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。				
7 その他				

《秋学期》

図書館活用法			コーディネーター 法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位	半期(秋学期)	火曜日	3 時限
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる(図書館リテラシー) 2. 様々な情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになる(学術リテラシー)				
2 日程・テーマ・担当者				
①	9月29日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子	
②	10月 6日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 吉田 千草	
③	10月13日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	10月20日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和	
⑤	10月27日	書物の愉しみ	法学部専任教授 田島 正行	
⑥	11月10日	文献・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 松並 康子・原口 尚大	
⑦	11月17日	文献・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 松並 康子・原口 尚大	
⑧	11月24日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 吉田 千草・桑原 理恵	
⑨	12月 1日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 吉田 千草・桑原 理恵	
⑩	12月 8日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料【演習】	図書館職員 宮澤 順子・小倉 葉子	
⑪	12月15日	文献・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 小野 聡・柴尾 晋	
⑫	12月22日	文献・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	メディア支援職員 井上 拓弥 図書館職員 角 祐二郎	
⑬	1月12日	文献・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 折戸 晶子・関口 則枝	
⑭	1月19日	総括:総合演習 【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 関口 則枝・齋木 信一	
3 履修上の注意・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前を受けていないと受講できません。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原孝雄著「大学生のためのレポート・論文撰写指南」(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤望編著「アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門」第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 西井和恵著「これからレポート・卒論を書く君ののために」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 糸原裕紀著「デジタル情報資源の検索と活用」第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター	
			農学部 小倉 信夫	
生田キャンパス	2単位	半期(秋学期)	金曜日 5 時限	
1 授業の概要・目的 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー) 2. さまざまな情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リテラシー)				
2 日程・テーマ・担当				
①	9月25日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	農学部専任教授 小倉 信夫 図書館職員 高橋 美子	
②	10月 2日	読書の愉しみ	農学部専任教授 小倉 信夫	
③	10月 9日	レポート・論文の書き方 ～分かったつもりで分かっていないポイントをつかもう！	理工学部専任教授 宮原 哲雄	
④	10月16日	図書館と著作権 ～きちんと論文・レポートを書くために	情報コミュニケーション学部専任准教授 今村 哲也	
⑤	10月23日	文献・情報の探し方(1)概論 ～探して見つけて手に入れる、全体を見わたす	図書館職員 西脇 亜由子	
⑥	10月30日	図書館と著作権 ～きちんと論文・レポートを書くために	【演習】 図書館職員 平田 さくら	
⑦	11月 6日	文献・情報の探し方(2)図書 ～図書館の達人への第1歩！	【演習】 図書館職員 小林 純一	
⑧	11月13日	文献・情報の探し方(3)雑誌論文① ～雑誌論文が面白いが分からない！検索	【演習】 図書館職員 小倉 さなえ	
⑨	11月20日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文② ～雑誌論文が面白いが分からない！検索	【演習】 図書館職員 小林 純一	
⑩	11月27日	文献・情報の探し方(5)レファレンス資料 ～調べものに使える！いろいろな情報	【演習】 図書館職員 西脇 亜由子	
⑪	12月 4日	文献・情報の探し方(6)専門情報・新聞 ～理系ならではの、発見・活用！メディア情報	【演習】 図書館職員 小倉 さなえ	
⑫	12月11日	文献・情報の探し方(7)インターネット ～ネットで使える情報をさがす	【演習】 図書館職員 角 祐二郎	
⑬	12月18日	検索技術の向上 ～まだある検索のツボ	【演習】 図書館職員 西脇 亜由子	
⑭	1月 8日	文献・情報の探し方(8)まとめ	【演習】 図書館職員 西脇 亜由子	
⑮	1月15日	総括:総合演習	【演習】 農学部専任教授 小倉 信夫 図書館職員 西脇 亜由子	
3 履修上の注意・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前を受けていないと受講できません。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原孝雄著「大学生のためのレポート・論文撰写指南」(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤望編著「アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門」第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 進井勉郎著「これからレポート・卒論を書く君ののために」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 糸原裕紀著「デジタル情報資源の検索と活用」第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断します。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター 法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位	半期(秋学期)	火曜日 5 時限	
1 授業の概要・目的 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる(図書館リテラシー) 2. 様々な情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになる(学術リテラシー)				
2 日程・テーマ・担当				
①	9月29日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子	
②	10月 6日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 窪田 賢一	
③	10月13日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	10月20日	図書館と著作権	図書館職員 平田 さくら	
⑤	10月27日	書物の愉しみ	法学部専任教授 田島 正行	
⑥	11月10日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 辻 薫・浅野 京子	
⑦	11月17日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 辻 薫・浅野 京子	
⑧	11月24日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 小林 純一・曽野 正士	
⑨	12月 1日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 小林 純一・曽野 正士	
⑩	12月 8日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料【演習】	図書館職員 豊満 朝子・畑野 蘭子	
⑪	12月15日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 窪田 賢一・齋木 信一	
⑫	12月22日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 窪田 賢一・原口 尚大	
⑬	1月12日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 豊満 朝子・齋木 信一	
⑭	1月19日	総括:総合演習	【演習】 法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・豊満 朝子	
3 履修上の注意・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前を受けていないと受講できません。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原孝雄著「大学生のためのレポート・論文撰写指南」(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤望編著「アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門」第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 進井勉郎著「これからレポート・卒論を書く君者のために」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 糸原裕紀著「デジタル情報資源の検索と活用」第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター	
			国際日本学部 美濃部 仁	
中野キャンパス	2単位	半期(秋学期)	水曜日	3 時限
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー) 2. さまざまな情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リテラシー)				
2 日程・テーマ・担当				
①	9月30日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	国際日本学部専任教授 美濃部 仁 図書館職員 久保木 和義	
②	10月 7日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久保木 和義	
③	10月14日	レポート・論文の書き方	国際日本学部専任教授 美濃部 仁	
④	10月21日	図書館の愉しみ	総合数理学部専任教授 砂田 利一	
⑤	10月28日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑥	11月 4日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 畑野 蘭子	
⑦	11月11日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 菊池 亮一	
⑧	11月18日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 柴尾 晋	
⑨	11月25日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 柴尾 晋	
⑩	12月 2日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料【演習】	図書館職員 畑野 蘭子	
⑪	12月 9日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 久保木 和義	
⑫	12月16日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 久保木 和義	
⑬	1月13日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 畑野 蘭子	
⑭	1月20日	総括:総合演習	【演習】 国際日本学部専任教授 美濃部 仁 図書館職員 久保木 和義	
3 履修上の注意・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前を受けていないと受講できません。				
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。				
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原孝雄著「大学生のためのレポート・論文撰写指南」(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤望編著「アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門」第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 進井勉郎著「これからレポートや論文を書く君のための」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 糸原裕紀著「デジタル情報資源の検索と活用」第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。				
7 その他				